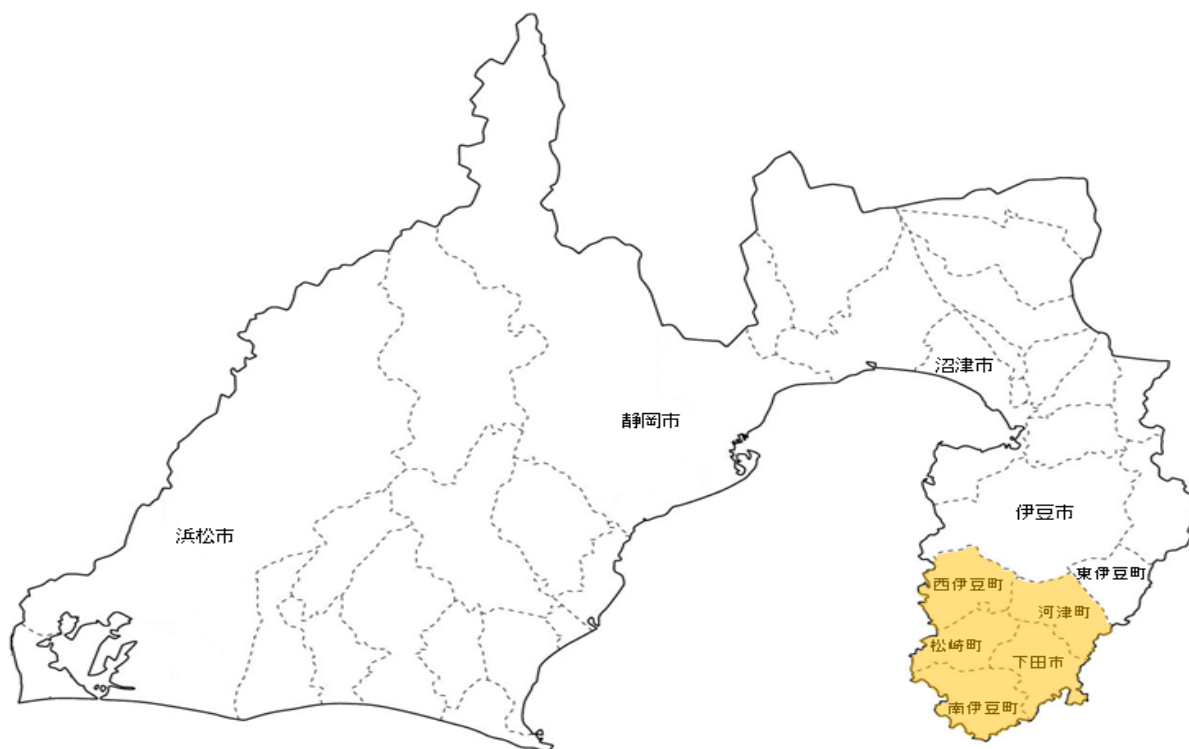


下田地区消防組合の概要

1 位置及び地勢

本組合は、静岡県伊豆半島の南部に位置する下田市、河津町、南伊豆町、西伊豆町及び松崎町の1市4町で構成され、半島を北から縦断する天城山系を軸に東は相模湾、西は駿河湾に面し、豊かな自然と温暖な気候を背景に、四季を通じ多くの観光客が訪れている。



2 面積、人口及び世帯数

平成29年4月1日現在

市町	区分	面積	人口			世帯数
			男	女	計	
下田市		104.38 km ²	10,824	11,653	22,477 人	11,053 世帯
河津町		100.69	3,598	3,857	7,455	3,312
南伊豆町		109.94	4,127	4,447	8,574	3,919
西伊豆町		105.54	3,940	4,386	8,326	3,896
松崎町		85.19	3,289	3,632	6,921	2,998
合計		505.74	25,778	27,975	53,753	25,178

3 消防組合関係者名簿

(1) 執行機関等

平成29年4月1日現在

職名		氏名
管理者(下田市長)		福井祐輔
副管理者(西伊豆町長)		藤井武彦
会計管理者(下田市会計管理者)		河井長美
監査委員	知識経験を有する者	鈴木貞雄
	組合議員	土屋清武

(2) 組合議員

平成29年4月1日現在

議	長	下田市議会選出	沢登英信
副	議	河津町議会選出	遠藤嘉規
議	員	下田市議会選出	進士濱美
議	員	下田市議会選出	橋本智洋
議	員	河津町議会選出	稲葉静
議	員	南伊豆町議会選出	比野下文男
議	員	南伊豆町議会選出	加畑毅
議	員	西伊豆町議会選出	山田昭男
議	員	西伊豆町議会選出	山本榮
議	員	松崎町議会選出	福本栄一郎
議	員	松崎町議会選出	土屋清武

4 消防組合の沿革

昭和	41年	6月	1日	・ 消防組織法第10条の規定により、下田町に常備消防の政令指定を受ける。
	42年	4月	1日	・ 下田町600-1番地に下田町消防本部下田町消防署を設立 ・ 消防ポンプ自動車2台、職員18人で業務開始
	46年	1月	1日	・ 市制施行に伴い下田市消防本部下田市消防署となる。 ・ 所在地 下田市東本郷1丁目5-21に変更
		4月	1日	・ 救急業務開始
	49年	5月	9日	・ 伊豆半島沖地震 隣接の南伊豆町で死者・行方不明者計27人
	51年	7月	11日	・ 集中豪雨による災害発生 死者5人（内消防団員殉職1人）
	53年	1月	14日	・ 伊豆大島近海地震発生 死者11人 重傷者28人 ・ （建物被害：全壊72棟 一部損壊879棟）
<hr/>				
	57年	4月	1日	・ 1市2町(下田市、南伊豆町、河津町)により下田地区消防組合を設立 組合設立に伴い30人を新規採用、定数を66人とする。
	58年	4月	1日	・ 南伊豆分署、河津分署業務開始
		9月	19日	・ 日本損害保険協会から、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。(南伊豆分署へ更新配備)
	61年	11月	21日	・ 伊豆大島三原山噴火 島民280人が下田市に避難
	63年	2月	4日	・ 社団法人日本自動車工業会から、救急自動車の寄贈を受ける。 (下田消防署へ更新配備)
平成	2年	3月	29日	・ 社団法人日本自動車工業会から、救急自動車の寄贈を受ける。 (河津分署へ更新配備)
	3年	9月	10日	・ 伊豆南部に集中豪雨 死者4人 負傷者7人 (建物被害：全壊17棟 半壊11棟 橋の流失2橋)
	4年	4月	1日	・ 条例定数を76人とする。
		11月	24日	・ 財団法人日本消防協会から、救急自動車の寄贈を受ける。 (下田消防署へ更新配備)
	5年	3月	2日	・ 賀茂郡南伊豆町加納595番地の3に南伊豆分署新庁舎移転
	6年	4月	15日	・ 下田市六丁目1番14号に下田消防本部及び下田消防署新庁舎移転
	8年	1月	25日	・ 30m級梯子付消防ポンプ自動車を下田消防署へ新規配備

10年	2月	3日	・ 高規格救急自動車を下田消防署へ更新配備
	4月	1日	・ 消防署三交代制施行
12年	12月	21日	・ 社団法人日本損害保険協会から、救助工作車の寄贈を受ける。 (下田消防署へ新規配備)
14年	2月	22日	・ 高規格救急自動車を下田消防署へ更新配備
16年	3月		・ 静岡県東部ドクターヘリ運航
	4月	1日	・ 機構改革により総務課及び予防課を設置し、消防署に当直司令を置き、部制とする。
17年	4月	1日	・ 静岡県消防防災航空隊へ職員1人派遣
	10月	17日	・ 携帯電話からの119直接受信開始
19年	8月	30日	・ 事務車両(1,500cc)を下田消防本部へ新規配備
	12月	19日	・ 高規格救急自動車を南伊豆分署へ更新配備
21年	12月	3日	・ 高規格救急自動車を下田消防署へ更新配備
22年	3月	29日	・ 指揮車を下田消防署へ新規配備
	3月	31日	・ 通信指令設備の更新により、新たに統合型発信地表示システム及び車両動態管理システムの導入及び署所間ネットワーク化
	7月	9日	・ 駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会(8市8町)へ加入
23年	1月	26日	・ 指令車を下田消防本部へ更新配備
	1月	26日	・ 指令車を南伊豆分署へ更新配備
	2月	28日	・ JA伊豆太陽農協共済連静岡から、高規格救急自動車の寄贈を受ける。(河津分署へ更新配備)
	3月	11日	・ 東北地方太平洋沖地震発生
	3月	23日	・ 東日本大震災に対し、緊急消防援助隊第5次～7次静岡県隊として救急隊及び後方支援隊各1隊延べ15人を福島県へ派遣
	12月	1日	・ 指令車を河津分署へ更新配備
24年	2月	27日	・ 水槽付消防ポンプ自動車を下田消防署へ更新配備
	3月	26日	・ 駿東伊豆地区消防救急広域化協議会(5市7町)へ加入
	3月	30日	・ 資機材搬送車を下田消防署へ新規配備
	6月	7日	・ 駿東伊豆地区消防救急広域化協議会において、下田地区1市2町及び西伊豆地区2町による先行広域化協議が承認される。
	6月	29日	・ 下田・西伊豆地区消防救急広域化協議会設立
	11月	26日	・ 県知事から消防広域化に伴う改正規約の許可を受ける。 (自行第401号)
25年	2月	20日	・ 高規格救急自動車を下田消防署へ更新配備

- | | | | |
|------|-----|------|---|
| | 4 月 | 1 日 | ・ 消防組合に西伊豆町及び松崎町が加入し構成団体が1市4町となる。(消防救急広域化の実現) |
| 26 年 | 2 月 | 13 日 | ・ 高規格救急自動車を西伊豆消防署へ更新配備 |
| 27 年 | 2 月 | 19 日 | ・ 下田消防署へ通信指令室統合(管内緊急通報の一括受信開始) |
| | | 23 日 | ・ 消防ポンプ自動車を河津分署へ更新配備 |
| | | 27 日 | ・ 予防査察車を下田消防本部へ更新配備 |
| | 3 月 | 31 日 | ・ 消防救急デジタル無線運用開始 |
| 28 年 | 1 月 | 15 日 | ・ 救助工作車を下田消防署へ更新配備 |
| | 2 月 | 16 日 | ・ 消防ポンプ自動車を南伊豆分署へ更新配備 |
| | 3 月 | 1 日 | ・ 静岡県消防防災航空隊へ職員1人派遣 |
| | 3 月 | 15 日 | ・ 災害対策用トラックを下田消防本部へ新規配備 |
| 29 年 | 3 月 | 23 日 | ・ 高規格救急自動車を南伊豆分署へ更新配備 |

5 歴代管理者

順位	氏名	就任期間
初代	青木 義男	昭和57年4月1日～昭和59年7月4日
2代	池谷 淳	昭和59年7月5日～平成12年7月4日
3代	石井 直樹	平成12年7月5日～平成24年7月4日
4代	楠山 俊介	平成24年7月5日～平成28年7月4日
5代	福井 祐輔	平成28年7月5日～

6 歴代副管理者

町別	氏名	就任期間
河津町	板垣 賢一郎	昭和57年4月1日～昭和61年4月25日
南伊豆町	鈴木 善長	昭和57年4月1日～昭和58年2月22日
南伊豆町	菊池 利郎	昭和58年2月23日～平成11年2月22日
河津町	櫻井 泰次	昭和61年4月26日～平成19年3月31日
南伊豆町	岩田 篤	平成11年2月23日～平成17年4月15日
南伊豆町	鈴木 史鶴哉	平成17年5月15日～平成19年3月31日
西伊豆町	藤井 武彦	平成25年4月1日～

平成19年4月1日から平成25年3月31日まで副管理者の職は廃止

7 歴代消防長

順位	氏名	就任期間
初代	速水 實	昭和57年4月1日～平成元年3月31日
2代	土屋 嘉文	平成元年4月1日～平成4年3月31日
3代	土屋 文男	平成4年4月1日～平成7年3月31日
4代	加藤 洋之	平成7年4月1日～平成9年3月31日
5代	富井 佑	平成9年4月1日～平成11年3月31日
6代	村山 勝利	平成11年4月1日～平成13年3月31日
7代	楠山 多聞	平成13年4月1日～平成16年3月31日
8代	和泉 誠	平成16年4月1日～平成21年3月31日
9代	渡辺 浩一郎	平成21年4月1日～